

日米親善人形交流

第1次大戦後のアメリカ、「排日移民法」の成立により悪化した日米関係を憂いた親日家の宣教師シドニー・ギューリック博士が、次世代を担う子どもたちの国際交流を立案する。日本側の受け入れを旧知の仲であった渋沢栄一翁に依頼し、昭和2年(1927)に日米親善人形交流が実現した。

関連年表

- 1868 (明治元年) 日本からハワイへはじめてに移民
- 1885 (明治 18) 第1回の官約移民 945 人がハワイへ
- 1888 (明治 21) ギューリック来日 同志社で教鞭をとる
- 1911 (明治 44) ギューリックと渋沢が会う
- 1913 (大正 02) ギューリック病気療養のため帰国
- 1918 (大正 07) 第1次大戦終結
- 1924 (大正 13) 議会で「新移民法」可決
- 1926 (大正 15) ギューリック全米に人形を集めて日本の子どもたちに贈ることを呼びかける
- 1927 (昭和 02) 1月には第1陣の「青い目の人形」達が横浜港に 12,739 体の人形は全国各地の小学校・幼稚園に配布、歓迎を受ける
5月には、人形をもらった子どもたちが「一銭募金」をしてアメリカに答礼人形を贈ることが決まる
10月 各地で答礼人形の送別会が実施
11月 横浜港より「天洋丸」で出発
途中ホノルルに寄港 サンフランシスコに25日に到着し大歓迎を受ける
- 1941 (昭和 16) 日米開戦 第2次大戦がはじまる
- 1945 (昭和 20) 第2次大戦終結
- 1959 (昭和 34) ハワイがアメリカ 50 番目の州になる

写真 横浜人形の家所蔵品



「一銭募金」趣意書 世界の平和はこどもから



相撲を観戦する人形 三重県の小学校



サンフランシスコ金門学園での歓迎会

「青い目の人形」が、初めてハワイでお披露目されました



写真中央 初めてハワイに渡った青い目の人形たち

「日米親善人形交流 90 周年記念講演会」

2017(平成29)年 3月10日(金)11日(土)

ハワイ大学ヒロ校に於いて開催